

自社製175cc&SP武川+Rで27.5psマーク!
モンキーベースにナイス110エンジンスワップが定番

ドイツの 4MINI チューナー TJR



THE
4MINI
WORLD
SURPRISING
DISCOVERY
vol.3
Saarland Germany

2号続けて(12月号と1月号)ドイツの4MINIコレクターをご紹介してきたこのコーナー。いよいよ今回は4MINIチューナーのSHOPさんやチームをご紹介していきます! まずはドイツ南西部、ザールランド地方のTJRチューニングパーツさんです!

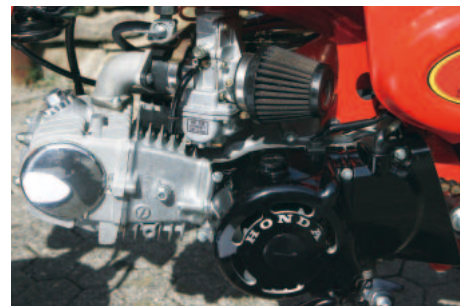
■SHOP : TJR TUNINGPARTS
■PHOTO&REPORT : Tsuyoshi Chiwa
■TRANSLATION : Keizo Kagaya
(KA-HA-Trading&mbH)
■SPECIAL THANKS : C.F.POSH (Tokyo&Osaka)



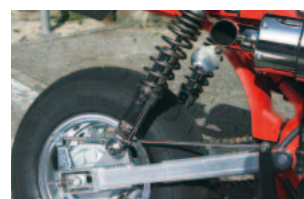
THE
4MINI
WORLD
SURPRISING
DISCOVERY
Vol.3
Saarland Germany

タイホンダ、ソニック系のフロントカウルが個性的!

タイホンダ製ソニック系のライトカウルを装着。他のネイキッドスタイルとは一線を画すテイストで仕上げられている。オレンジの車体にナイス110のブラックのクラックケースがシブくマッチしている。



▲キャブはミクニ製VM28φ、ヘッドはTJR製となり、もちろんクラックケースはナイス110となる。



◀スイングアームはドイツナ製100mmロング。ホイールはGクラフト製2.75-8サイズをチョイス。タイヤはハイドナウ製の3.50(フロント)と4.00(リヤ)の8インチだ。

れ、今では自社製ヘッドとスーパーヘッド+Rの2機種をお客さんに薦めているという。さらに、TJR製58φポアアップキット装着の175ccに、SP武川製のスーパーヘッド+Rカム(S35)という組み合わせで27.5psをマークしたのが過去最高の出力で自慢だそう。TJRでもヘッドキットを販売しているのに、「SP武川のプラスRが最高だよ」と言ってしまうあたり、すくなく正直にチューニングに向き合っているんだな、4MINIを純粹に好きなんだなと、感心しちゃいました。



ダブルディスク装備 日本製パーツも多数!

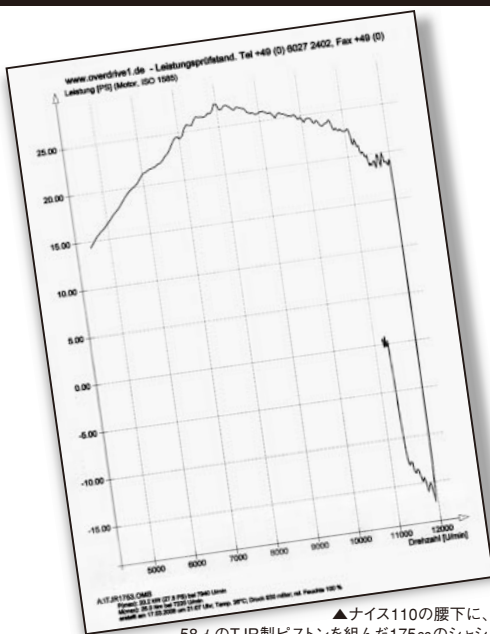
ドイツナ製100mmロングのスイングアームとドイツナ製280mmリヤショック、タイのファデーバイク製フロントフォークなどで、大柄なドイツ人でも乗りやすい「車高」と、ハイパワーでも安定する「長さ」を手に入れた。マフラーはドイツナ製で、エンド部分にはバツフルならぬ、音量を劇的に、しかも瞬時に下げられる開閉弁が装備される。

01.タイのファデーバイク製フロントフォークを装備し、Gクラフト製ホイールやB77(通称バナナ)タイヤを装着。02.タンクにはバレンティノロッソ選手のゼッケンなどが描かれている。仕上がりも素晴らしい、個性的なワンプイント。03.キャブはVM28φ。腰下はナイス110用。ヘッドはSP武川製スーパーヘッド+R。

フランクフルトからフランス方向に150km。Saarland(ザールランド)地方のHomburg(ホンブルク)という町にあるTJR TUNINGPARTSにお邪魔した。先月号と先々月号で紹介したフランクフルトの4MINIコレクターとは雰囲気も変わり、こちらはチューニングをメインとした4MINIショップだ。

TJRのチューニングメニューには大きな特徴がある。マシンのほとんどがモンキーの8インチ仕様。タイホンダ製のナイス110エンジンを搭載し、さらにチューニングを施している。ドイツではアルプス山脈に近い南部は丘陵地帯でアップダウンやコーナーも多く、北部に行くにつれて平坦な直線路が多くなるという特徴がある。そこで面白いことを教わった。「アップダウンやコーナーが多い南部はトルク型の2バルブヘッド、直線が多い北部は高回転高出力な4バルブ、特にDOHCなんか人気なんだよ」という。

取材していて面白いな、と思ったのは、他社製品でも客観的に評価し、それを我々に情報として提供してくれることだった。ずっと以前にはSP武川のヘッドを試したこともあったが、彼らの想像していたようなパワーは出ておらず、「それなら」と自社製ヘッドを開発。しかし、SP武川製のスーパーヘッド+Rが登場してからは、その高性能に圧倒されて、今では自社製ヘッドとスーパーヘッド+Rの2機種をお客さんに薦めているという。さらに、TJR製58φポアアップキット装着の175ccに、SP武川製のスーパーヘッド+Rカム(S35)という組み合わせで27.5psをマークしたのが過去最高の出力で自慢だそう。TJRでもヘッドキットを販売しているのに、「SP武川のプラスRが最高だよ」と言ってしまうあたり、すくなく正直にチューニングに向き合っているんだな、4MINIを純粹に好きなんだなと、感心しちゃいました。



TJRはThom(トム)とJunker(ユンカー)さんが2人で立ち上げた。彼らの頭文字にRacingのRを付ければTJRとなるワケだ。1975年、ユンカーさんは通勤に使用するためにDAXを購入。その後1990年に工具メーカーに勤めていたトムさんに「このDAX速くならないか?」と相談したのがきっかけで、彼らの4MINIチューニングが始まった。トムさんは工具メーカーで設計などを担当しており、エンジンパーツの設計などもお手の物だったのだ。

当初は自分達のためだけにパーツやエンジン加工を行っていたが、そのクオリティの高さにより、次第に彼らのチューニング技術はウワサとなり、オーダーも入るようになった。そこで2003年1月1日から本格的にTJRを開業したという経緯がある。

現在、9名のスタッフが勤務し、イギリス、オランダ、ベルギー、フランス、チェコスロバキア、スウェーデン、スペインなどからもオーダーが入るという。主な商品はナイス110用のロングストローククラックとヘッド。バルブはスチール製とチタン製が選べるラインナップとなっている。



◀ヘッドキットは2バルブ(in30φ、out25φ)となる。スチールバルブ仕様が365€(約5万8000円)。チタンバルブ仕様は585€(約9万4000円)。他にも66mmクラック(約11万2000円)や62mmクラック(約10万4000円)もあり、SP武川のスーパーヘッド+Rとの組み合わせでの購入も可。組み付けやメンテナンスも行ってくれるという頼もしさ。

TJR TUNINGPARTS
Zweibrucker Str.40-D-66424
Homburg/Saarland
<http://www.tjr-tuningparts.de>



チタンバルブ仕様のヘッドもあるドイツの4MINIチューニングSHOP



▼C.F.POSH製パーツも数多く在庫しています。人気らしいですよ。

▼「強度の問題で材質は秘密」というヘッドガスケットも、ここで作られている。

▶整然と並べられたBOXには、スベアパーツなどが入っている。

OVER製マフラーもドイツで人気!

ドイツでも人気のOVER製マフラーを装備し、サイレンサー直前には、OVERレーシングのサウンドアジャストシステムが装備されており、オリジナル状態のワイヤー式から、手動式に変更されているため、レバーが装備されている(下カコミ参照)。

▶倒立タイプのフロントフォークはJCBパーツ製でホイールはGクラフト製の2.75x8サイズ。フロントイングデイスクなども装備され、質感の高い仕上がり。



ドイツでも「静かで速い」が人気!? ワンタッチ消音できます



▲デイトナ製マフラーの出口に装備されたステンレス製の弁。排圧で押されてパタつかないよう、クリアランスは狭く設定され、操作感も重いが、しっかりした作りとなっている。

今回取材した4台全てにマフラーの消音装置が装着されていた。デイトナ製マフラーにはエンド部分の開閉弁が装備されており、上写真のOVER製マフラーにはサウンドアジャストシステムの操作部分を加工したものが採用されていた。警察の取り締まりはもちろん、住宅街での走行でも役立つアイテムなのだ。

次号3月号はベルギーの4MINIショップを直撃!

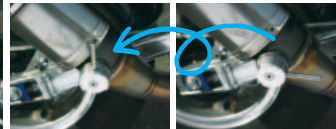
4MINIファンはドイツだけじゃない。次号ではベルギーの4MINIショップを直撃!あの激レアホイールや写真のようなヘビー級カスタムまで、ベルギーならではのテイストも合わせてお届けします。国によってカスタムの方向性が違うなんて、知らなかった〜。

3月号は2月6日(水)発売です!



THE 4MINI WORLD SURPRISING DISCOVERY vol.3 Saarland Germany

▼OVER製マフラーにはOVER製のサウンドアジャストシステムが装備され、ワイヤー式の開度調整がレバー式に変更されている。



▶取材でオジャマしたのは日曜日。チビッコたちも交えて食卓を囲む。するとデカイ肉がドーン! もちろんドイツビールも出てきます。こんなに食べたら、もう晩メシいらねえ〜



▶どこの国でも同じだけど、4MINIのハナシが始まるとノンストップ。日本はどうなんだ?みたいな質問攻め。「日本の4MINIファンも凄いいレベルだぜ〜!」って言うとききました。



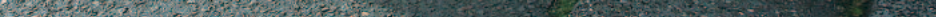
▲TLタイプシートやダブルテール、大きめのナンバープレートやイエローのKYB製305mmリヤショックなどがクール。

▼こちらもTJR製ヘッドにTJR製ボアアップとクラックが組み込まれている。



珍しい10インチスポークもいるよ!

8インチが圧倒的に多いなか、10インチ仕様も混じってました。ホイールはJCBパーツ製でタイヤはハイデナウ製の100/80-10と130/70-10。Gクラフト製のトップブリッチやステムを使用し、NSR50用のフロントフォークを装備。スイングアームはSP武川製の120mmロングをチョイスしている。



「いやいや、国際免許は持ってたけど、あのツーリングは気持ち良かったね〜。気候もイイし、景色なんて絵画の世界!もうよ見しっぱなしだったけど、だんだんベースが上がってくるとオレも必死だったよ。マジメそうなトムも、巨体のユンカーも、油断するとブチぎられちゃうほど飛ばすんだ。エンジンはとにかくトルクが太くて、低い回転域でも走ってられる。どのマシンも同じような感じだった。それとね、飛ばすと前後のタイヤがウニョウニョとヨーイングしてきた、こうなるとスゲー怖かった。わずか1時間くらいだったけど、忘れられない思い出になったよ」 (◎輪)



◎乗ってみるか? ツカッ飛び ツーリングを体験!

オッサン

ちゃんと付けてこいよ!

146kg だけど 負けないよ

▲さりげなくプロテクター入りのジャケットを着込み、フルフェイスでヤル気マンマンな2人。「軽く走るだけじゃね〜のか?」どうやらマジで攻めるみたいだ。

◀こんな景色のなか、フルチューンの4MINIで仲間と走る。ドイツの郊外が貫切なんて、こんなゼイタク、味わえと思ってませんでした。ダンケシェン!



▶すべてナイス110エンジンが搭載されており、1台だけは10インチ。ライダーズジャケットを着ると、トム、けっこうカッコいいじゃん!